

沖縄県立図書館通信 7月号

O K I N A W A P R E F E C T U A L L I B R A R Y

県立図書館の取り組み紹介！

学校図書館お悩み相談

・学校図書館活用相談

学校図書館を活用した授業支援・読書活動支援等、学校図書館活用教育に関わるさまざまな課題についての御相談を受け付けています。

・学校図書館運営相談

図書館業務を行うにあたって生じるお困りごと等についての御相談を受け付けています。

- ・図書の修理方法
- ・図書の整理方法
- ・資料相談 等

学校図書館訪問依頼書

・学校図書館訪問

学校図書館の運営等でお悩みのことについて、要請に応じて指導主事や図書館司書が学校を訪問し、実際に学校図書館の様子を拝見しながら、解決方法を一緒に考えます。

・校内研修等への講師派遣

学校図書館を活用した授業実践や図書館教育の実践に向けた校内研修等、各学校で実施される研修等に講師を派遣します。



QRコードから
各種相談への対応ページを
見ることができるよ

訪問しました！



図書館業務を行うにあたって生じるお困りごとや、学校図書館活用教育に関わるさまざまな相談について、お電話、Eメール、ファックス等で受付けています。
「学校図書館のお悩み相談」に必要事項を記入してお送りください。

■県立図書館の使命と役割には市町村支援や学校図書館支援も含まれています。
今回は6月に訪問した2つの図書館をご紹介します。

未来創造センター（宮古島市立図書館）



宮古島市立図書館のお悩みはイベントの広報でした。
県立図書館のノウハウをお伝えした後、生徒に刺さる広報の方法について一緒に考えました。

沖縄県立宮古特別支援学校



宮古特別支援学校では時節に合わせた展示やさまざまな媒体での資料（DVDやオーディオブック）を見童、生徒の特性に合わせて準備していました。
県立図書館の一括貸出もご案内できました。

空とぶ図書館開催のお知らせ

7/12(金) 14:00～19:00 & 7/13(土) 9:00～11:00 in 伊是名島
会場：伊是名村産業支援センター

7/29(月) 13:00～19:00 & 7/30(火) 9:00～11:00 in 伊江島
会場：農村環境改善センター



新着図書紹介

県立図書館に新たに入ってきた本の一部をご紹介します。
本の場合について不明な点があれば、カウンター職員にお尋ねください。

新着本は毎週水曜日に、
新着図書コーナー
(3階展示エリア) で公開中です！



一般図書



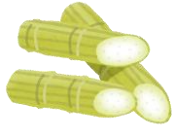
タイトル	著者
「読書の自由」を奪うのは誰か 「自由宣言」と蔵書選択	馬場 俊明／著
エクス・リブリス	ミチコ・カクタニ／著 橘 明美／訳
図解でわかるソーシャルワーク	鈴木 孝典／編著 鈴木 裕介／編著
怪異と妖怪のメディア史 情報社会としての近世	村上 紀夫／著
性差別の医学史 医療はいかに女性たちを見捨ててきたか	マリーケ・ビッグ／著 片桐 恵理子／訳
科学がつきとめた中年太りの すごい解消法	山田 陽介／著
地球の冷やし方 ぼくたちに愉しくできること	藤村 靖之／著
色の物語 青 古代エジプトからイヴ・クライン まで	ヘイリー・エドワーズ ＝デュジャルダン／著 丸山 有美／訳
浮世絵でみる！ 動物図鑑	中右 瑛／監修
残されたものたちの 戦後日本表現史	山本 昭宏／著
踊る昭和歌謡 リズムからみる大 衆音楽	輪島 裕介／著
女大関若緑	遠藤 泰夫／著



こどもの本



タイトル	著者
おいちゃんのくしゃみ	阿部 結／[作]
なんにもおきないまほうのいちにち	ベアトリーチェ・アレマーニヤ／作 関口 英子／訳
動物たちもオナラする？「ヘー」と おどろく科学絵本	ニック・カルソ／文 ダニー・ラパイオットティ／文 アレックス・G.グリフィス／絵 くまがい じゅんこ／訳
おうちでヒヤッ でない、あけない、のぼらない 子ども の身をまもるための本	清永 奈穂／文・監修 石塚 ワカメ／絵
もしものときのがんこちゃん じしん・大雨・火山こんなときどうする？	押川 理佐／文 武田 美穂／絵
13歳から考える戦争入門 なぜ、 戦争はなくならないのか？	長谷川 敦／著 増田 ユリヤ／監修 かみゆ歴史編集部／編



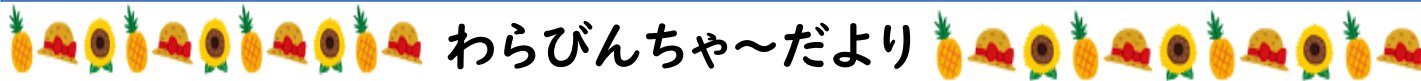
郷土本



タイトル	著者
「守礼の光」が見た琉球	ボーダーインク編集部／編
奄美大島 喜界島 加計呂麻島 (地球の歩き方島旅)	-
でっか字九州沖縄道路地図 (ギガマップル)	-
沖縄苗字のヒミツ 増補改訂	武智 方寛／著
在日米軍基地 米軍と国連軍、 「2つの顔」の80年史	川名 晋史／著
米軍統治下での「島ぐるみ闘争」 における沖縄住民の意識の変容	村岡 敬明／著

7月の展示

場所	期間	タイトル	内容	主催団体
5F	5/20 ～7/1	慰霊の日関連展示①	こども向け(～小学生)の戦争に関する絵本・図書を展示します。座って読めるコーナーもあります。親子でご利用ください。	沖縄県立図書館
	5/20 ～7/1	慰霊の日関連展示②	一般向け(中学生以上)の戦争に関する図書を展示します。	沖縄県立図書館
	7/3 ～7/15	沖縄を知る10冊	沖縄を知る10冊の本を紹介します。	沖縄県立図書館
	7/17～9/2	のせて、はこぶ、おんなたち—頭上運搬のすがた—	今ではなかなか見ることのできない頭上運搬。沖縄女性の伝統的な運搬技法を見直してみませんか。	沖縄県立図書館
4F	6/7 ～3/31	グッジョブセンター展示	お仕事に関する本を展示します。	沖縄県立図書館
	6/26 ～7/8	新札展示	2024年7月から発行される新札の人物に関する本を展示します。	沖縄県立図書館
	7/10 ～7/22	芥川賞直木賞展示	芥川賞・直木賞の受賞作品の展示を行います。	沖縄県立図書館
3F	通 年	沖縄県立博物館・美術館情報コーナー	沖縄県立博物館・美術館に関する情報発信コーナー	沖縄県立博物館・美術館
	通 年	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画	目指すべき沖縄の姿を描いた「沖縄21世紀ビジョン」の「新・基本計画」と各施策の具体的な取組を示した「新・実施計画」を紹介します。	沖縄県立図書館
	通 年	沖縄県図書館協会	沖縄県図書館協会についてご紹介します。	沖縄県立図書館
	通年	沖縄県民カレッジ	沖縄県民カレッジの情報をお届けいたします。	沖縄県生涯学習振興課
	6/26 ～7/8	フォトコンテスト～島の魅力～上位入賞作品展示	フォトコンテストを実施することで、県民の皆さまに建設業に対する理解とイメージアップを図るとともに写真文化の振興を図る展示です。	沖縄県建設業協会青年部会
	7/10 ～7/22	ちゅら島環境美化促進月間パネル展示	多くの県民の皆様に、ちゅら島沖縄の実現に向けた環境美化の重要性について理解を深めていただくため、環境美化に関するパネル展を実施します。	沖縄県環境部環境整備課
	7/10 ～7/22	令和6年夏の交通安全県民運動パネル展	夏の交通安全県民運動の普及啓発のパネルを展示します。	沖縄県子ども生活福祉課くらし・安全課
	7/10 ～7/22	理学療法月間(7月17日は理学療法の日)	「理学療法士」普及啓発活動として、パネル等を展示	沖縄県理学療法士協会
	7/17 ～7/29	グリーンリボン沖縄 臓器提供の意思表示普及啓発	毎年10月は臓器移植普及推進月間です。月間に向けて、臓器移植、移植医療に関して知って頂く機会、きっかけとなるようポスター等を展示します。	沖縄県保健医療福祉事業団
	7/17 ～8/12	佐川 毅彦 絵画展	佐川 毅彦氏の絵画を展示します。	佐川 毅彦(個人)
	7/31 ～8/26	沖縄観光月間「観光について考える」特集コーナー	観光月間である8月の一か月間貴館の協力のもと、「観光月間コーナー」を設け、県民(特に夏休みのお子様向け)に沖縄観光について学んでもらうことで地域の魅力や観光の意義等に関する児童の理解増進推進を図る展示です。	沖縄観光コンベンションビューロー



今年も夏がやってきましたね！夏・7月といえば海、天の川(七夕)、花火など…。
 なんだかキラキラしているものが多いように感じます。それに関連して、今回は光り輝くものが出てくる本を紹介します。

『ぎんがてつどうのよる』



宮沢賢治／原作
 武田美穂／絵と構成
 理論社 2023.10

おまつりの夜。
 ジョバンニは気づくと、
 なかよしのカムパネルラ
 といっしょに銀河をめぐる
 汽車に乗っていて…。
 宮沢賢治の名作童話を親
 しみやすくした絵本。

資料ID：1010104568

『七つの石の物語』



小手鞠 るい／作，サトウ ユカ／絵
 講談社 2023.2

鉱物博物館に行った小6の夢美は、トルコ石のような青い目をした同年の自称“石博士”と出会い…。
 科学への関心が深まる物語。鉱物・宝石と小～中学校で学ぶ理科の内容との関連を解説する「ひとくちメモ」も収録。

資料ID：1010255998

7月のおはなし会

場所: 県立図書館3階おはなしの森
 時間: 10:30～(約30分)

5日(金) 世界のえほん読み聞かせ会 言語:中国語
 11日(木) えいごでおはなし会 18日(木) 定例おはなし会





沖縄何でもQ&A

このコーナーでは沖縄県立図書館に寄せられたお問い合わせ（調査・相談、レファレンス）の一部をご紹介します。
今月は・・・

A.

琉球船舶旗とは、米国統治下の沖縄で船舶が掲げられることを義務づけられた国際表示旗のことです。国際信号旗D(デルタ)旗の端を三角に切り落としたもので、「変形デルタ旗」とも呼ばれています。

国際法では、公海を航行する船舶は常時、国旗を掲げることになっていますが、米国統治下の沖縄では日の丸を掲揚することが認められていませんでした。

そこで、1950年1月27日の琉球列島米軍政府布令第2号「海運規則」(1951年6月27日改正第4号)により、「琉球の船籍を有する船舶は、すべての船籍を証明する必要がある場合は、D旗の尾端を底辺とする等辺三角形を切離した形の国際旗即ち大型旗で出来ている特別旗を掲揚しなければならない」と規定され、「琉球船舶旗」が掲揚されるようになりました。

1952年2月27日には、琉球列島米国民政府布令第65号「琉球船舶規則」が公布されますが、船舶旗に関する規定はそのまま残りました。そして、1955年9月14日の琉球列島米国民政府布令第148号「琉球船舶規則」(1955年12月12日改正第2号)により、これまでの「必要がある場合」から「常時掲揚」が義務付けられます。

米国民政府は、琉球船舶旗を国際水路局加盟国に通告したことで、国際的周知がなされたと考えていましたが、1962年4月3日には、インドネシアのモロタイ島近海の公海上で操業中のマグロ漁船・第一球陽丸が、国籍不明を理由にインドネシア海軍機から銃撃を受け、乗組員1人が死亡、3人が負傷するという事件（第一球陽丸事件）が発生しました。

第一球陽丸事件以後も国籍不明船として扱われるトラブルは絶えず、1962年6月1日、立法院は日米両政府と高等弁務官に対して「沖縄船舶の日章旗掲揚」を要請しました。

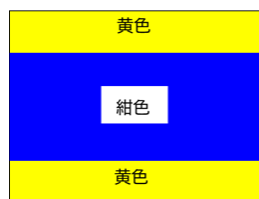
しかし解決には時間がかかり、1967年3月1日に行われた第12回日米協議委員会で、「琉球 RYUKYUS」と赤字で書かれた三角旗を併用することで、船舶への日の丸掲揚を認める合意が成立しました。

Q.

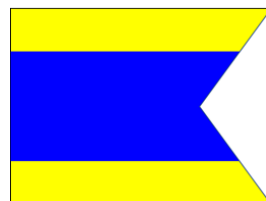
No.155 (郷土資料レファレンス事例)

琉球船舶旗について知りたい。

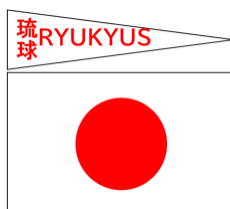
そして1965年3月4日の高等弁務官布令第57号「琉球船舶規則」(1967年5月23日改正第3号)が公布され、同年7月1日をもって、三角旗付きではあるものの沖縄の船舶に日の丸が掲揚されるようになりました。



国際信号旗D(デルタ)旗



1967年6月30日まで使用された琉球船舶旗



1967年7月1日から1972年5月14日まで使用された三角旗付き日の丸

※図は『琉球海運株式会社四十年史』p.160を参考に作成

参考文献

『沖縄大百科事典』 下 沖縄大百科事典刊行事務局編 沖縄タイムス社 1983

『沖縄県農林水産行政史 水産資料編2 第18巻』 沖縄県農林水産行政史編集委員会編 農林統計協会 1985

『アメリカの沖縄統治関係法規総覧』 月刊沖縄社 1983

『琉球海運株式会社四十年史』 琉球海運株式会社四十年史編集委員会編 琉球海運株式会社 1992

『沖縄の証言 下』 沖縄タイムス社 1973

『戦後沖縄生活史事典』 川平成雄[ほか]編 吉川弘文館 2022

利用案内

開館時間：9時～20時（火曜・年末年始・特別整理日休館）

休館日：毎週火曜日、年末年始、特別整理期間

※図書館専用の無料駐車場はございません。

お車で越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。



来館される皆様へのお願い

- 館内では飲食禁止です。飴・ガム・チョコレートなども持ち込みはお断りしています。倒れても、中身がこぼれない容器に入れた飲み物は持ち込みが可能です。
- 携帯電話やスマートフォンはマナーモードに設定し、通話は4階・5階にある館内電話ボックスをご利用ください。
- 館内は撮影禁止です。撮影は控えください。



令和6年(2024年) 7月発行 第187号
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区
TEL：098-894-5858（代表）

沖縄県立図書館



図書館カレンダー7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
は休館日です。						

HP



X(旧Twitter)



facebook

